

令和4年5月26日

北九州市議会
議長 鷹木 研一郎 様

日本共産党北九州市会議員団
団 長 荒 川 徹
副 団 長 藤 沢 加 代
幹 事 長 山 内 涼 成
政調会長 大 石 正 信
議 員 高 橋 都
議 員 出 口 成 信
議 員 伊 藤 淳 一
議 員 永 井 佑

北九州市の市場・商店街の災害復旧支援についての申し入れ

議長におかれましては、市政発展のためにご尽力いただき、心より敬意を表します。

さて、令和4年4月19日に発生した旦過市場の火災から1カ月が経過しました。現場では、被災者から口々に「一刻も早く、がれきを撤去してほしい」との声が出されました。これに対して北橋市長は「がれき撤去は、市民からの寄付を募る・クラウドファンディングでお願いする」としています。

一方本市は、旦過市場火災を機に、被災事業者の営業再開の「空き店舗活用事業」に特例措置を設け、補助率を5分の4で、120万円を上限に、今後の市場・商店街火災に適用可能な制度を実施するとしていますが、わが党として被災者の営業再開の取り組みを後押ししたものと、歓迎するものです。

今回の旦過市場のがれき撤去は、旦過市場の知名度が高いという特別の事情によって、クラウドファンディングにも多くの市民や企業の協力が集まりましたが、その他の市場・商店街では、旦過市場のような取り組みは厳しいのではないかと考えます。市内の各市場・商店街は地域住民の日々の暮らしに密着したものであり、同時に多くのところが老朽化した木造の建物が密集した状況です。

つきましては、以下のように市議会として市に要請することを提案します。ご検討をお願いします。

記

1 がれきの撤去にも活用できる制度の創設を

今後、市場・商店街火災を含めた災害に対して、早期の営業再開を行うために、「がれきの撤去」に対しても市として、恒久的な支援制度を創設すること。

以上